

タイヤ負荷能力オーバー、空気圧不足は 不安全・不経済!

タイヤの損傷

荷物の積み過ぎや空気圧不足によって発生する
代表的な損傷例



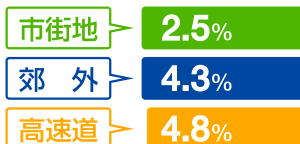
トレッドセパレーション
(トレッドの剥離現象)



偏摩耗
(両肩摩耗)

燃費の悪化

適正空気圧より50kPa不足している場合の
燃費の悪化比率(%)



タイヤ負荷能力がオーバーしているとタイヤの空気圧が不足している状態と同様の走行状態となります。

出典:一般財団法人省エネルギーセンター

これは
4円~7円/ℓ高い
ガソリンを使用
しているのと同じ

※150円/ℓ計算

むやみに

これらを防ぐために

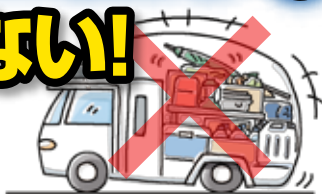
積み込まない・空気圧点検!



荷物の偏った積み方!

むやみに荷物を積み込まない!

むやみに荷物を積み込むと、タイヤの負荷能力をオーバーした状態となり、タイヤの損傷や燃費の悪化を招きます。特にキャブコンの後輪は、負荷が大きい傾向にあり、また、装備によって左右アンバランスになることもあるので、荷物はなるべくバランスよく積みましょう。



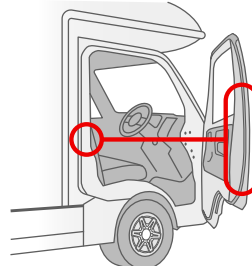
荷物の積み過ぎ!

月に一度はタイヤの空気圧点検・調整を!

車両のドア付近等に表示されている
指定空気圧の確認

走行前のタイヤが冷えている状態での空気圧です。走行中の温度上昇によって指定空気圧を超えても問題ありません。走行によって空気圧が上昇しても、空気を抜かないでください。

■車両指定空気圧の表示例

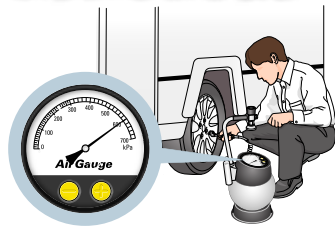


| タイヤ空気圧 (kPa {kgf/cm ² }) | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| タイヤサイズ | |
| 前輪 | 後輪 |
| 195/70R15 106/104L LT | 195/70R15 106/104L LT |
| 600 | 600 |

新車指定タイヤと違うサイズのタイヤに変更した場合の空気圧は、キャンピングカーメーカーまたはタイヤ販売店等にご相談ください。

指定空気圧を
下回ることがないようにしましょう

タイヤの空気圧は徐々に低下します。なるべく走行前のタイヤが冷えている状態で、車両指定空気圧を基準とし、下記の範囲内で空気圧を調整し、指定空気圧を下回ることがないようにしましょう。



| タイヤの種類 | 空気圧調整範囲 |
|------------|----------------------|
| 乗用車用タイヤ | 車両指定空気圧から +0 ~ 20kPa |
| 小形トラック用タイヤ | 車両指定空気圧から +0 ~ 70kPa |

長期間使用されたタイヤは、疲労が蓄積され、まだ溝が残っていても交換が必要となる場合があります。
タイヤ販売店等で相談を!

JATMA

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

JRVA

一般社団法人日本RV協会

※上記のイラストは全てイメージです。